



長野県議会広報

長野県議会広報  
第134号

# こんにちは 県議会です

発行/長野県議会 編集/長野県議会広報委員会

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL 026-235-7414 「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。



【党派等議員数】

定数	58人
自由民主党県議団	22人
信州・新風・みらい	14人
新ながの・公明	10人
日本共産党県議団	8人
無所属	4人

現員58人  
(平成29年8月1日現在)

## 平成29年6月定例会(6月22日~7月7日)の概要

平成29年6月定例会が開催され、知事から平成29年度一般会計補正予算案、長野県立大学入学科等徴収条例案、収用委員会委員の選任などの議案が提出されました。

本会議での一般質問(31名)、委員会審査などで、高校再編・学びの改革、今後の消防防災航空体制、森林づくり県民税、観光振興等様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、飯山市井出川における山腹崩落災害への対応、県立大学の設立に必要な評価委員会の設置、山岳遭難防止、地域経済活性化に要する経費などを盛り込んだ総額6億9,017万円余の補正予算案など、知事提出議案18件を原案のとおり可決、同意又は承認しました。

議員提出議案は、11件の意見書を可決しました。

### 本会議での主な審議

Q 議員の質問質疑

A 知事・部長等の答弁

※詳細な内容は県議会ホームページの録画中継でご覧になれます。

#### 議論 1 高等学校再編・学びの改革



これからの高校教育のあり方、次期高等学校再編計画の方向性について議論しました。

Q 平成30年度以降に、「学びの改革 実施方針」に則り、旧通学区ごとに検討を進め、「まとまったところから再編計画を策定し、校名を提示する」としているが、具体的に「まとまった」とはどのような過程を経て、どのような状況になることを想定しているのか伺う。

A 7月・8月に開催する地域懇談会等を経て、その地域の高校の将来像をどうするかという検討が始まっていくものと考えている。県教育委員会として主体的に関わるが、例えば市町村、市町村教育委員会、学校関係者、保護者、産業界代表等で組織される地域協議会のような組織が立ち上がり、地域の総意となるような議論が展開される状況も出てくると考えており、地域内で高校再編の方向性に関する一定の合意形成が図られたと判断のできる状況を想定している。

Q 県内の中学生が越境して他県の高校に入学している状況にある。県内の高校に進学して本当に良かったと思える特色ある高校づくりや魅力ある学びの空間を創造してほしいと考えるが、今回の高校再編計画では、県外進学者への対応策をどのように検討していくのか伺う。

A 少子化が進行する中で、子どもたちが県外へ流出するという課題に対しては、地域の方々とともに、特色や魅力のある高校の将来像を一緒になって考え、解決の方向性を見い出していきたい。

#### 議論 3 森林づくり県民税・森林整備等について



森林づくり県民税の今後の方針や活用方法について議論しました。

Q 里山の整備推進を目的に導入された森林づくり県民税だが、その活用が十分でなかったと感じる。林業県への進化のために活用できないのか。若者のやりがいがある仕事としての林業振興や森林県長野の強みの発揮、また未来へ美しい森林を伝えるためにも、より良い森林づくり県民税の活用についての考えを伺う。

A 森林づくり県民税のあり方を議論していただいている県民会議からは、NPO等多様な団体の森林整備への参入促進や地域が抱えている様々な森林に関する課題への対応も必要との意見を、税制研究会からは、県が独自に超過課税を行うに当たっては、必要性を明確に示すことが重要との指摘もあり、県民アンケートの結果等も十分踏まえ、今後の方針を定めていきたい。

Q 大北森林組合の補助金不適正受給に森林づくり県民税の一部が当たっていたことは、誠に残念。再発防止の取組を進めるのは当然だが、長野県の森林は、災害や管理放棄による危険をはらんでいる。身近な里山を木材利用や観光にも活用できることが長野県の強み。県民に多様な意見もあるが、用途の拡大や市町村等が利用しやすい制度に変えていくことも必要。これまでの森林づくり県民税に対する評価と森林整備の基本的な考え方について伺う。

A 森林づくり県民税を活用した森林整備については、10年間の目標とした38,400haに対し、32,210haの里山の間伐が実施される見込みであり、県民に身近な森林である里山の間伐が一定程度進展するなど成果が得られつつある。県民の皆様の安全・安心な暮らしを確保するため、森林整備は引き続き重要な政策であり、また、学びの場や県民あるいは本県来訪者の憩いの場等として総合的に森林を活用する取組も必要と考える。

#### 議論 2 消防防災航空体制について



消防防災ヘリコプターの事故を受けて、今後のあり方や対応策について議論しました。

Q 山岳観光を進める本県が安全対策の責務を放棄するわけにはいかない。また、山岳県である長野県こそが消防防災航空体制を最も充実させ、他県の模範となるべき。今やるべきことは、民間委託も含めた幅広い検討ではなく、自主運航体制を構築する意思を示し、安全運用するために何が必要かを速やかに示すことと考えるが、スピード感を持った体制整備について伺う。

A 本県特有の地形・気象を熟知した上での運航の重要性から自主運航を続けてきたが、操縦士の確保・人材育成の面で課題もある。また、隣接県等の応援を仰がざるを得ないという現状を継続していくわけにはいかない。突然の災害に対応する体制を再構築することは急務と認識しており、「消防防災航空体制のあり方検討会」の議論も踏まえ、1日も早い体制づくりに努めたい。

Q 国土交通省運輸安全委員会による機体検証等の調査にはどの程度の期間が見込まれるのか。また、自主運航、民間委託化などを含めた中長期的な方策の取りまとめをいつまでに行うのか伺う。

A 運輸安全委員会の事故調査報告書については、「他の例では、平均1年半程度かかっているが、できるだけ早く報告できるよう努力している」と説明を受けている。自主運航あるいは民間委託など、中長期的な方策の取りまとめの時期についても、当面の課題に係る検討の成果を踏まえ、出来る限り早期に方向性を出していきたい。

#### 議論 4 信州DC・観光振興について



信州デスティネーションキャンペーン(以下「信州DC」と表記)の取組や今後の観光振興について議論しました。

Q 信州DCが、7年ぶりの開催となり、全国各地から多くの方に長野県にお越しいただき、満足、感動してほしいと期待しているところであるが、今回の信州DCは、どのような狙いや特徴があるのかを伺う。

A 一過性のイベントに終わらせることなく、地域や事業者が一体となって今後の「観光地域づくり」につなげていくことが、今回の信州DCの最大の狙い。特徴としては、コンセプトに基づく旅の提案、JR並びに私鉄各社の協力による500本を超えるイベント列車の運行、2次交通の検討や地域の価値の発見につながる着地型周遊バスツアーの運行、外国人を含む旅行者の利便性を高めるための観光情報・交通案内アプリ「信州ナビ」や多言語コールセンターなどの情報インフラ整備、県民や様々な主体の参画による「おもてなし県民運動」の展開等である。

Q 「観光地域づくり推進方針2017」が決定され、本年度を観光地域づくりの節目の年として位置付けて、本県の強みである山岳高原を生かした「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりに取り組むとしている。中長期的な展望も踏まえ今回の信州DCを生かして、今後どのように取り組むかを伺う。

A 来年度においてもJRと連携して前回と同様にアフターDCを実施したい。また、実施主体である信州キャンペーン実行委員会では、本年のDCの効果を来年のアフターDCにつなげるため、キャンペーン終了後も切れ目なく事業を展開し、引き続き取組を実施していく。将来に向けては、本年度の取組の成果を検証しながら、継続すべきものは継続し、「観光地域づくり」につなげていく。

# 常任委員会の委員長報告から

各委員会では、付託議案、請願・陳情の審査及び所管事項に関する調査などを行いました。

## 総務企画警察委員会



- 県警ヘリの県消防防災ヘリ事故後の出動状況やパイロットの配備体制への質問があり、事故から5月末までの出動回数は、前年とほぼ同数だが、救助活動は増加傾向にあること、パイロット6名で2機のヘリを運航しており、うち1名は研修中との説明がありました。
- 地域振興局による横断的課題への取組状況に関する質問に対し、各地域振興局では、管内現地機関と綿密な連携を図りながら積極的に取り組んでおり、地域振興推進費を活用した事業の実施後には成果を自己評価して公表するとの答弁がありました。

## 県民文化健康福祉委員会



- 「長野県子どもを性被害から守るための条例」について、きちんとした施行状況の検証が必要であり、そのための情報の提示を求める意見が出される一方、二次被害が起きないように対応する必要があるとの意見も出されました。これに対し、検証は他県にはない取組であり、当事者への心理的負担も十分考慮しながら、今後も検証を進めていくとの答弁がありました。
- 若年者の自殺率が全国一高いことは問題であり、早急に若年者に対する総合的な自殺対策を行う必要があるとの意見が出されました。

## 環境産業観光委員会



- 「信州DC」について、委員からは目標達成に向けてしっかり取り組むよう要望があり、また、登山計画書届出の義務化から1年が経過したことに関連して、これまで以上に山岳遭難防止対策を進めていくべきとの意見が出されました。
- 本県の次世代産業の成長戦略の考え方についての質問に対して、今後は、長野県全体の稼ぐ力を培っていくことが大事であり、既存産業をしっかりと育て、新しい産業分野への進出・創出・誘致をし、産業人材を育成するとの説明がありました。

## 農政林務委員会



- 本県の農業分野における外国人技能実習制度の要件緩和と専門技能を有する外国人の就労解禁を、国家戦略特区として提案したことについて、地域のニーズや課題等を踏まえ、受入体制の整備を十分に図るよう意見が出されました。
- 森林づくり県民税について、成果や課題等の県民への十分な説明や柔軟な使途の検討、多額の基金残高があること等から慎重な検討を求める意見が出されました。また、大北森林組合等補助金不適正受給事案については、組合に対する指導・助言等とともに、県としての説明責任をしっかりと果たすよう意見が出されました。

## 危機管理建設委員会



- 飯山市で発生した山腹崩落について、新たな砂防堰堤を設置し、地域住民の恒久的な安心安全確保に取り組むとの説明があり、住民が一刻も早く安心して暮らせるよう、既設砂防堰堤にたまった流木等の除去や、新たな砂防堰堤の早期の完成を目指してほしいとの意見が出されました。
- 県消防防災ヘリの事故について、二度と事故が起きないように、原因究明を行うとともに、消防防災ヘリの配備や人員の確保に関する方向性を早期に決定し、一刻も早く消防防災航空体制の再構築を行うべきとの意見が出されました。

## 文教企業委員会



- これからの高校教育のあり方や高校再編の方向性を示す「学びの改革」について、県民の理解をさらに深めるため、少子化の進展やAI等の飛躍的な進歩等、教育を取り巻く状況の変化をわかりやすく周知していくこと、地域の方々と丁寧に議論を進めることが何より重要であるとの意見が出されました。
- 企業局電気事業の今後の展望、PFI(※)導入の検討状況や、発電所・水道施設の災害への備えなど中長期的な視点から幅広く意見が交わされました。

※PFI…公共施設等の建設、管理、運営等に民間の資金やノウハウを活用して、公共サービスの提供を行うこと

## 決算特別委員会を設置しました

- 委員長 両角 友成(共) 副委員長 寺沢 功希(信)  
 委員 佐々木 祥二(自) 西沢 正隆(自) 高橋 岑俊(自)  
 酒井 茂(自) 丸山 大輔(自) 竹内 久幸(信)  
 花岡 賢一(信) 小川 修一(新) 小山 仁志(新)  
 和田 明子(共) ※(自)自由民主党県議団、(信)信州・新風・みらい、  
 (新)新ながの・公明、(共)日本共産党県議団

## 平成29年6月定例会で可決した議員提出議案一覧

意見書は国に提出し実現を求めました。

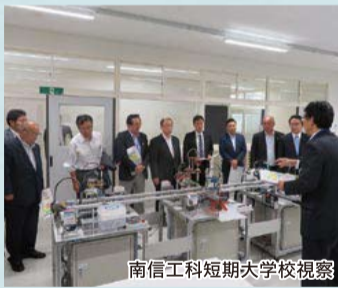
- 観光振興施策に対する一層の支援を求める意見書
- ストーカー対策の拡充を求める意見書
- 地方大学への支援の充実等を求める意見書
- 公共事業等における国産材の活用に向けた施策の更なる推進を求める意見書
- 東アジアにおける平和と安全の確保を求める意見書
- ギャンブル等依存症対策の強化を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 山岳遭難救助対策の推進を求める意見書
- 地域公共交通に対する支援の充実を求める意見書
- 加計学園・森友学園に関する真相解明と説明責任を全うすることを求める意見書
- 義務教育の充実を求める意見書

※意見書の内容は県議会ホームページでご覧になれます。

# トピックス

### 環境産業観光委員会

5月24日～26日に上伊那地域振興局など14現地機関の調査と、妻籠宿など5箇所の視察を行うとともに、飯田、木曾及び松本の各合同庁舎において、関係市町村長等との意見交換を行いました。



南信工科短期大学校視察

### 小学生等の議場見学

小学生等の議場見学の際、県議会の役割や仕組みなどを説明しています。可能な限り正副議長と広報担当議員が対応しています。



議場説明の様子

◎県議会ホームページに、正副議長の公務日程を掲載しています。公務終了後、記録写真等の活動状況もご覧になれます。

### 県議会探検ツアー



議場内での様子

7月27日の夏休み県庁見学イベントにおいて、議会施設を見学する「県議会探検ツアー」を開催しました。大勢の小学生、保護者の皆さんが議員の案内で議場、議長室、委員会室などを巡り、県議会の仕組みなどに理解を深めていただきました。



議長室での様子

### 「こんにちは県議会です」を開催します

次代を担う若い世代や地域の住民の方々との意見交換を行い、県民に身近で開かれた県議会を目指すため、正副議長と広報担当議員のほか、地元選出議員も参加して、「こんにちは県議会です」を開催します。

開催場所	開催日
県庁議会棟第1特別会議室 (県下高校生との意見交換)	平成29年8月31日(木)
上田市 真田地域(会場未定)	平成29年11月20日(月)
大町岳陽高等学校	平成29年12月19日(火)

※詳細は内容が確定した時点で議会ホームページに掲載します。

### 広報番組「こんにちは県議会です」を、ケーブルテレビで放送します

(一部の地域は除く)

内容 6月定例会での農政林務委員会と危機管理建設委員会の模様

放送日時は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。過去1年分の番組は、県議会ホームページでご覧になれます。

### 平成29年9月定例会日程(予定)

- 9月21日(木) 開会
- 26日(火)～29日(金) 一般質問及び質疑
- 10月2日(月)～4日(水) 各委員会
- 5日(木) 総務企画警察委員会
- 6日(金) 閉会 ※現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。

会期  
16日間

県議会ホームページをご覧ください

※本会議のインターネット中継については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

長野県議会

検索

携帯サイトはこちらから



県議会ツイッターをご覧ください  
皆様のフォローをお願いします。

アカウント  
@Naganokengikai

お問い合わせ、ご意見は  
長野県議会事務局調査課まで

TEL 026-235-7414(直通)

●FAX 026-235-7363 ●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp

長野県議会ホームページ  
http://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html